

「総ぐるみ」新聞

NPO総ぐるみ福祉の会事務所は日限山4・45・10（八四六一八八五〇）
入会や活動のお問い合わせ先は、事務所または「日限山荘」 日限山4・7・1

第九回 秋の「お出かけサポーター」

・ ・ ・ 藤沢日大・生物博物館 と バラ園
「小栗判官と照手姫」 伝承の遺跡めぐり ・ ・ ・

新見 宏

十月二十八日は、小雨模様の曇りという予報が外れて、願ってもない小春日和でした。「よかつたわねー」という声に送られて、今回の「お出かけサポーター」は始まりました。

◆日本大学・生物博物館とバラ園

当日日大では、防災訓練実施の予定で、構内の滞在時間が制限されましたが、無事見学ができました。ただその影響で、構内を歩いてバラ園に行けなかったのは残念でした。

生物博物館は、長年にわたって集められた膨大な蝶や蛾の標本と、海陸に住む脊椎動物の骨格標本や動物の剥製標本が特徴です。色鮮やかな蝶に目を驚ませ、一見フクロウに見間違える模様の蝶に驚き、また、ヒグマの剥製の前で「熊さんはこんなに大きいのおお怖い！」と皆さん楽しんでおられました。農学部の実習農場「バラ園」は、鑑賞用に造園された各地のバラ園に比べれば見劣りしますが、花盛りで見事でした。多くの品種が栽培されていて、このバラ園から、世間を驚かせる新しい品種が生まれるのが楽しみです。

◆「わいわい市場」と食事処・「海湘丸」

日大のすぐ近くのさがみ農協経営「わいわい市場」は、近隣の農家が朝採りの新鮮な野菜に、生産者名を明記した値札をつけて並んでいます。早速参加者の皆さんも広い店内に散らばり、やがて野菜がいっぱい袋を下げてニコニコ顔で戻られました。

買った野菜などの品定めに騒々しい声を載せて、バスは食事処・海湘丸に着きました。この店は、老舗ではないものの、近海の新鮮な魚介類を提供してくれます。大部屋を貸切に出来たので、約一時間半デザート付きの昼食を堪能し、おしゃべりを楽しみました。

◆遊行寺

「小栗判官と照手姫」伝承の物語

藤沢の遊行寺や日大近くの西俣野地区には、この物語の伝承が多く残っていますが、物語を御存じの方は少ないと思います。

約六百年前の室町時代に実際に起こった事件を基にしたこの物語は、まずは仏教の説教節として、やがて尾ひれがついて浄瑠璃や



歌舞伎に上演され、庶民を楽ませてきました。幕末の文明開化の波に押され、荒唐無稽な物語だと忘れ去られてしまいました。しかし、平成三年に市川猿之助が歌舞伎に再現して上演、さらに平成二十一年に宝塚歌劇団の花組がこの演題で上演、また劇面も出版されるなど、にわかに脚光を浴びています。最近の演劇評論の中には、身体障害者福祉の視点からこの物語を評論する面も見られます。というのも「不慮の死によって地獄に落ちた小栗判官

は、盲啞で手足は萎え、自分一人では何もできない悲惨な状態でこの世に甦りますが、弱者を助けることで極楽往生を願う人達の力を借りて、藤沢から熊野をめざし、熊野の湯の薬効で元の健康を取り戻し、幸せを掴む」という点からです。

◆参加者の感想
◇好天に恵まれて、楽しい一日でした

高本 朕子

朝から晴天に恵まれて、二〇名の方とバスで藤沢方面に向かって出発し、日大生物資源科学部の博物館に到着しました。ここでは、動物や鳥類の標本コーナーで、ヒョウやトラ・アフリカゾウなどの野生動物の骨格標本、剥製標本を見ることができて、驚きでした。また昆虫コーナーでは、世界中の蝶の標本千三百種類が展示されていて、色鮮やかな美しい蝶に見とれました。

次に、すぐ近くのバラ園に行きましたが、ここは観賞用のバラ園ではなく、研究施設ということ、花は少ししか見られませんでした。赤い実をつけた木があり、バラも実をつけることを知り、びっくりでした。次は「わいわい市」に寄りました。藤沢の朝採り野菜や果物・花などが販売されていて、皆さん買い物を楽しみました。昼食は、「和食処「海湘丸」」で新鮮なお刺身などを美味しくいただきました。

午後は、遊行寺に寄りましたが、バスの中で新見さんが、この寺にゆかりのある小栗判官と照手姫の物語を判りやすく話してくださいましたので、歴史には疎い私も理解できました。この二人の供養塔にお参りしてから帰路につき、予定より早く帰れました。

有意義な一日を過ごさせていただき、宮崎理事長をはじめ望月様、皆様、ほんとうにありがとうございました。

◇お出かけサポートに、初参加して

加賀知恵子

当日は、夜半から朝まで雨が降るといって天気予報だったので心配していましたが、きれいに晴れて良い天気になりました。参加者はNPOの事務所に集合してバスに乗り、役員の方々と共に総勢二〇名で、九時に出発しました。

予定より早めに藤沢の日大の生物資源科学部の博物館に到着したので、花応院を参拝してから入館し、三階から見学しました。家畜コーナー、野生動物コーナー共に動物の骨格標本・剥製標本がずらりと並び、壮観でした。骨格標本は、本物の質感の迫力を感じるように、ガラスケースなしで展示されていて、キリンの首の骨が長く伸びている様子に驚き、感心しました。また、昆虫コーナーでは、世界の蝶の標本が千三百種類も展示されているようで、色彩鮮やかな蝶は、そのままブローチにしてもよいと思いました。

「わいわい市」で新鮮な野菜や卵などを買った後、お昼をいただき、帰路につきました。途中、遊行寺の長生院にある小栗判官という歴史上有名な人の墓所へお参りしました。この六百年も前の人物については、バスの中で詳しくお話くださったので、久しぶりに聞く歴史のお話に感動しました。四時過ぎに事務所前に到着して、解散となりました。有意義な楽しい一日を過ごさせていただき、ありがとうございました。

～介護の現場から～ 困ったときは一人で悩まず、保険サービスを受けましょう。

年を取ってからの住居移転は計り知れないエネルギーが必要だということ、107号で述べました。

そのご夫婦からNPO総ぐるみ福祉の会にご相談が来ました。

「妻に困ったことが起こっています。元気がなく、無気力で脱力感に襲われるようで、日常の生活ができなくなった。どうしたら良いだろうか」

そこでご本人の同意を得て、申請の結果「要支援1」と認定され、介護保険のサービスを受けることができるようになりました。

そのせいででしょうか、外出が億劫になることもなく日限山荘など各種の集まり等に自分から出掛けるようになり、すっかり元気になり明るくなりました。このまま長続きすることを願っています。

このように介護保険サービスは受け身ではなく前向きに考えましょう。ちなみに当会の10月のサービスの実績は下表の通りです。(一柳 朗)

サービス	回数	介護の内容
身体介護	186	清拭・入浴・排泄・着替え・食事介助
身体介護及び生活援助	147	清拭・入浴・排泄・着替え・食事介助に加え生活援助
生活援助&予防訪問介護	55	生活上で共に行う掃除・風呂掃除・食事の仕度等
障害者自立支援	44	移動支援 通学通所支援
通院等乗降介助	75	歩行困難者の通院時のため車で送迎、乗降介助
自費による介助	54	介護保険外の身体及び生活援助
合計	561	